

# Myuで培った行動力が人生を拓いた



みのくれ誕生から1ヶ月後に産声をあげ、幼稚園年長の時に演劇ファミリーMyuに入団。「行動力が身についた根底はMyuにあると思う」と語る、石岡市出身で現在は東京在住の中泉健太郎さんにインタビューします。

## 異例の小学生 スタッフ誕生

みのくれは「秘密基地みたいなところ」と語る中泉さん。「やりたいことがやれる場所で、応援してくれる人もたくさんいるから」。大人になった今も「また帰ってきたい」と思える場所です。

初舞台は幼稚園生の時。みのくれ住民ミュージカル「RENDA」に出演し、冒頭のシーンで上手の花道から出てきたのを「なんとなく覚えてますかね」と笑います。2〜3年キャストとして活動したものの、裏方に憧れ、Myuでは異例の小学生スタッフとなった中泉さん。舞台上に登場する小道具の出し入れを台本に書き込みしながら、「ここでは何を準備しようか、なんて考えるのが好きでした。見て学んだという感じです」と懐かしそ

うに振り返ります。初めてスタッフ欄に「Myu演出部 中泉健太郎」と載った時には本当に嬉しかったそうで、その後も舞台進行スタッフ、照明操作、音響操作を務めました。

なぜスタッフに憧れたのか伺ってみると、「キャストが頑張っている姿を見て、支えることがやりがいになっていったからですかね」と中泉さん。この裏方気質は、現在インターンとして働いている中・高生向けの公共施設で、大いに役立っているそうで、「この施設でもボランティアの皆さんが活動していて、それを支えるのが僕の役割です。まさにMyuの演出部と同じですね」。人を支えることに喜びを感じるのは、Myuの活動を通して発見した自分らしさです、と語ります。

就職活動を通して自己分析した際に気づいた点とし

て、「小さい頃から10年くらいMyuを続けたことが『自分とは何か』や『自分の価値は何か』を語れる根底になっていると思います」。Myuで培った行動力はその後の中泉さんの人生にも大きく影響を与えてくれています。高校時代に生徒会長に立候補して務めたこと。オーストラリアにホームステイに行ったこと。そして大学時代にはカンボジアにボランティアへ。カンボジアで活動する中で学んだことは幸せについての価値観。「まず身近な人を幸せにすること。自分ができると学びました」。

5月から羽田空港のグランドスタッフとして働く中泉さん。Myuで培った裏方気質と行動力、得意の英語力を活かして、ぜひ活躍ください。そして、たまにはみのくれに顔を見せに来てくだ

さいね。  
(藤田佐知子)

みの〜れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」OB

なか いずみ けん た ろう  
**中泉 健太郎**さん

みの〜れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
**のすすめ**

No.211